

【フリートーク：次期環境基本計画に向けた現行計画の課題（地球環境）】

7月9日（日）のフリートークでは、令和7年3月策定予定の「第三次国分寺市環境基本計画」（以下「次期計画」という。）に向けて、現行計画の地球環境分野を中心に課題出しを行いました。

地球環境の分野では、「地球温暖化対策の推進」、「省エネルギー・省資源の促進」、「再生可能エネルギーの導入・創エネルギーの推進」、「ごみの発生抑制、減量化・資源化の推進」の4つの施策の方向に基づき、7つの主な施策と20の取組を計画に位置づけています。

現行計画の策定から約10年が経過し、当時の市を取りまく状況等から大きな変化が見られます。次期計画では、現在の社会状況や市の現状を踏まえ、実効性のある計画となるよう、活発に意見を交わしました。

主な意見の抜粋は、以下のとおり。

- ・宅地開発を抑えて、樹林地や農地を守っていった方が良い。
- ・エネルギーを使用するということはCO₂を排出することだと言える。しかし、省エネと言いつつも体調にも気を付ける必要があり、電気などのエネルギーを使わないと生活できない。
- ・ごみの発生抑制と減量の違いが分からない。リサイクルも含めて分かりやすく分けた方が良い。
- ・2050年にCO₂排出量ゼロにならないとどのような影響を受けるかといったことを伝えていった方がよい。
- ・ごみの発生抑制をどうしたら良いかなど市民が考えることが重要だと思う。
- ・戸別収集や清掃センターが3市共同処理になるなど、ごみの収集方法や処理機能が現行計画策定時と大きく変わっていて、前提条件が異なっている。
- ・食品ロスを減らす取組も大事だと思う。量り売りをもっと普及しても良いと思う。
- ・もやせるごみを減らす大きな目標を立ててほしい。



現行の第二次環境基本計画の内容については、市ホームページ（検索ページ番号「1003260」）でご覧いただけます。

【9月の環境ひろば】「早稲田大学所沢キャンパス湿地及び里山保全活動見学会」の参加者募集

早稲田大学自然環境調査室の竹内大悟さんを講師にお迎えし、早稲田大学所沢キャンパス内の湿地及び里山を見学しながら、環境の保全と管理等についてご講義いただきます。

里山保全の先駆的地域である狭山丘陵で、市民と学生の協働による保全活動について学べる機会です。皆さまのご参加をお待ちしています。※高低差のある湿地及び里山を歩きます。

開催日時：9月10日（日）10時～正午（受付開始：9時45分）

会場：早稲田大学所沢キャンパス

定員：15人※事前申込み制・多数の場合抽選

申込み方法：8月30日（水）までに、住所・氏名・メールアドレスまたは電話番号を、メール（machikeikaku@city.kokubunji.tokyo.jp）もしくは電話番号（042）314-9005（土日祝日を除く月～金曜日8時30分～17時）にて、まちづくり計画課へ



市HP

【武蔵国分寺種赤米（あかごめ） 市立第五小学校での取組】



校庭での田植え

国分寺赤米会の支援のもと、五年生の授業の一環として始まった赤米の取組も今年で4年目に入りました。

先ずは5月12日（金）教室での事前学習を1時限実施しました。

国分寺赤米会のメンバーでもある東京赤米研究会の長沢利明さんによる米や稲作の歴史、世界の米、赤米の歴史や特性など、詳しく学びました。

そして、5月31日（水）、梅雨入り前のひと時、校外の畑での粃まき（陸稲）を実施しました。今年度は2クラス80名ほどが、18班（1班4～5名）に分かれ、畝ごとに、ペットボトルで空けた穴に粃をまいていきました。

慣れない作業に戸惑いながらも、赤米会のスタッフ（20人）のアドバイスを受けながら無事作業を終えました。

さらに6月8日（木）には今年で3年目となる校庭のミニ田んぼ（かつての足洗い場）での田植えを実施しました。こちらは、クラスごとに実施しました。

子どもたちは、皆裸足になって、最初は恐る恐る、入った後は泥の感触に大喜びでした。生涯の思い出になるのではないのでしょうか。

畑の稲刈りは10月2日（月）、ミニ田んぼの稲刈りは9月25日（月）が予定されています。

（環境ひろば会員 龍神 瑞穂）

【玉川上水・分水網上下流連携総括シンポジウムが開催されました。】

7月19日（水）「玉川上水・分水網上下流連携総括シンポジウム」に参加しました。玉川上水を再生することで、江戸城外堀や日本橋川等の水環境を改善し、そこから未来につながる“東京水辺のあり方”について語る、興味深いシンポジウムでした。

東京都知事挨拶（代読）に始まり、東京都、千代田区長、中央区長、大学教授、推進団体等多数に参加し、充実した内容でした。また、国土交通大臣、多摩川上水沿いの区長・市長からメッセージも寄せられました。特に東京都都市整備局湯川雅史氏から、東京都が2030年目標で取り組む「外堀浄化に向けた取組み」は具体的に目標が決められており、大変参考となりました。また、玉川最下流地域である中央区山本区長からの日本橋・神田川復活による“うるおう”を目指し『水は命・物を運ぶ・美しい』をモットーにする、水辺づくりは、興味深く拝聴しました。

最後に、玉川上水・分水網を活かした水環境都市東京連絡会宣言が、参加者により採択されました。宣言の内容は次のとおりです。

『多摩川から玉川上水・分水網を通して外堀・日本橋川へと至る江戸・東京をつくってきた水の流れを取り戻し、東京都市河川の水質浄化を図りつつ、沿川の生物多様性を保全するとともに、自然流下で都心まで流せる利点を生かし都民が安心して憩い、親しむことができる水辺を創造します。東京都が取り組んでいる「外堀浄化基本計画」を積極的に推進するとともに、世界に誇れる水都・東京を目指し、関係者が連携して、その実現に取り組みます。』

※写真は、水再生センターで処理された玉川上水小平監視所下流で玉川上水に流れる再生水です。

（環境ひろば会員 白木昭憲）



処理されて玉川上水に流れる再生水

環境ひろばのお知らせ

9月10日（日）午前10時～正午 早稲田大学所沢キャンパス ※事前申込制

（あしがき）

次期環境基本計画の議論を始めて、今回で4回目となりました。地球環境を守るために、地球温暖化やごみ問題等の現状をしっかりと把握し、10年20年先の国分寺の未来を見据え、次期環境基本計画を策定していきたいと思っております。環境ひろばや市民ワークショップなどで、ぜひご意見をお聴かせください。（事務局）

国分寺市環境ひろば

事務局

国分寺市 まちづくり部 まちづくり計画課

〒185-0012

国分寺市本町4-1-9 本町クリスタルビル4階

TEL：042-314-9005（直通）

FAX：042-323-9060

Eメール：machikeikaku@city.kokubunji.tokyo.jp